児湯小学校体育研究会

都農町立都農南小学校
教諭　　福田　哲也

児湯地区小体連の研究発表。

研究主題

生涯にわたって運動に親しむ
資質や能力の基礎を育てる
体育科学習の在り方
～主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業の創造と展開～

研究主題は、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力の基礎を育てる体育科学習の在り方とし、副題を主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業の創造と展開とした。

児湯小体連の授業の考え方

体育の好きな児童の育成
↓
体育の得意な先生だけができる授業ではいけない
↓
誰が教えても体力を高め、楽しくできる授業を行う！

この研究主題に取り組むため、児湯小体連では、体育の授業を「体育の好きな児童を育成するために、体育の得意な先生だけができる授業ではなく誰が教えても体力を高め、楽しくできる授業を行う必要がある」と考えた。

主題設定の理由

- 運動好きな児童と運動きらいな児童の2極化
- 外遊びの時間の減少
- 体力テストの成績の低下

主題設定の理由は以下の３点。

○　運動好きな児童と嫌いな児童の２極化
○　外遊びの時間の減少
○　体力テストの成績の低下

研究目標

運動の楽しさを味わい、進んで運動に取り組み、仲間と関わろうとする児童を育成するために、体つくり運動における体育科学習指導の在り方を究明する。

研究の目標は、「運動の楽しさを味わい、進んで運動に取り組み、仲間と関わろうとする児童を育成するために、体つくり運動における体育科学習指導の在り方を究明する。」とした。

研究仮説

運動の楽しさに触れる中で
動きの上達を実感できれば、
↓
自ら運動の楽しさを味わい、
進んで運動に取り組もうとするであろう。

生涯スポーツにつなげていく

これらより、研究の仮説を、

運動の楽しさに触れる中で動きの上達を実感できれば自ら運動の楽しさを味わい、進んで運動に取り組もうとするであろうとした。

これは、小学校体育の段階から、生涯スポーツへのつなぎを意識してのことである。

研究の内容

1　指導方法の工夫改善について

- ○　主体的・対話的で深い学びについて
- ○　１単位時間の学習指導過程の工夫
- ○　上達を実感させるための手立て

2　学習資料の工夫について

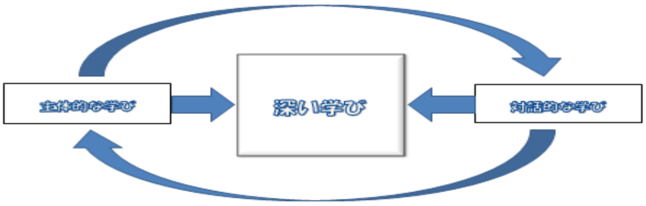
- ○　ワークシートの活用
- ○　掲示資料の活用

研究の内容については、大きく以下の２点である。

○　指導方法の工夫改善について

○　学習資料の工夫について。

主体的・対話的で深い学びについて



学習活動を進めていく中で、体験したことから感じ取ったことを表現したり、課題解決について構想を立ててそれを評価したり、他者と考えを伝え合い自他ともに考えを発展させたりしていく学習を目指す

主体的・対話的で深い学びについて。

授業を行う上で大切なことは、主体的な授業、対話的な授業とそれぞれに重きを置くのではなく、主体的・対話的な学びが相互に係り合うようにすることで、深い学びが行われるということを念頭においた授業を行うことであるとした。

１単位時間の学習指導過程の工夫

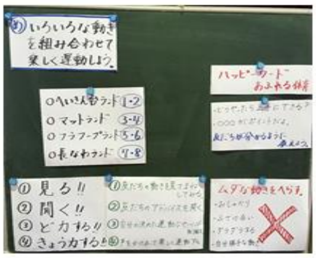
「はじめ・なか・まとめ」の
各時間で行うことの明確化
⇩
それぞれの過程でのねらいを
明確にすることで、より学習効果を
高めることができる。

１単位時間の学習指導過程の工夫について。

「はじめ・なか・まとめ」の各時間で行うことを明確化した。

これにより、それぞれの過程でのねらいを明確にし、より学習効果を高めることができるようにした。

１単位時間の学習指導過程の整理



「はじめ」の段階

- 学習内容に対する意欲を高める。
- 学習内容に対する知識・技能についての理解を図る。

はじめの段階では、ホワイトボードや黒板を用いてめあてを示したり、全体指導を行うことで本時の学習事項の共通理解を図ったりすることで、本時の学習内容を明確化し、児童が目的意識をもって授業に取り組めるようにした。

1単位時間の学習指導過程の整理

「なか」の段階

- 児童が主体的に運動に取り組み、課題解決に向けた話し合いを行えるようにする。

1単位時間の学習指導過程の整理

「まとめ」の段階

- ワークシートを用いて、授業を通して自分の体力がどのように高まったかを振り返る。

なかの段階では、運動の時間を十分に確保しながら、学習を進められるようにした。その際に児童が「運動を行っただけ」にならないように、適宜声掛けや指導を行うようにした。また、学級一斉での指導や、ペア・少人数のグループなどの学習形態による話し合い活動など児童の実態に合わせて指導形態の工夫も行った。

まとめの段階では、本時の学習で学んだことを振り返り、学習内容の定着を図るようにする。その際に、学習活動を行う中で自分のどのような体力が高まったか、自己の気付きをもとに振り返ることができるようにした。また、学習カードを活用し、学習活動を通して学んだことや気付いたことを記入して、より学習内容を定着できるようにした。

上達を実感できるための手立て

「上達」の内容を児童が評価する際には、
「回数」や「点数」などで行わない
⇩
友達からの称賛
運動のコツに気付いたこと
運動の行い方の工夫の仕方
などを評価する

上達を実感させるための手立てについて。

上達の内容を評価する際には、「回数」「点数」などで行わないようにした。

具体的な数字でなく、友達からの称賛やコツへの気付き、運動の行い方の工夫の仕方などを評価するようにした。

上達を実感できるための手立て

量的な面ではなく
質的な面で評価を行う

（例）
- 動きがスムーズになった
- 友だちのアドバイスでコツが分かった
- 動きを工夫して行うことができた

といったことを児童から引き出していく

量的な面ではなく、質的な面を評価するようにした。

腕立て伏せを例にすると、正しいフォームでするよりも、腕を最大まで曲げ伸ばししない方が回数は多くなるが、それでは求める効果は表れない。

例示されているような内容を評価し、授業を行っていくようにした。

上達を実感できるための手立て

運動の行い方の工夫

運動が単調になる
⇩
授業で扱う運動が単調な動きの
反復練習に終わってはいけない
⇩
児童にとって楽しく取り組めるように
運動を工夫していくこと必要がある。

主に運動の行い方を工夫できるようにした。

行う運動が単調になってしまい、授業の内容が単調な動きの反復練習にならないように楽しく取り組めるように、運動の内容を工夫していくことができるようにした。

上達を実感できるための手立て

児童の興味・関心に応じて工夫する視点
を与え、運動の条件を変化させる
⇩
運動条件の変化
方向・人数・用具・距離・姿勢・時間

児童の興味関心に応じて工夫する視点を与え、運動の条件を変化させるようにした。

運動条件の変化については、「方向・人数・用具・距離・姿勢・時間」の６点をあげた。各内容については次の通りである。

上達を実感できるための手立て

～運動の条件変化～
方向　…　運動を行う向き（方向）を変化させる
（例）　走る向きを変えながら走る

人数　…　運動を行う人数を増減させる
（例）　ゲームを行う人数を増減させる

用具　…　運動を行うための用具を変化させる
（例）　風船　➡　ボール

上達を実感できるための手立て

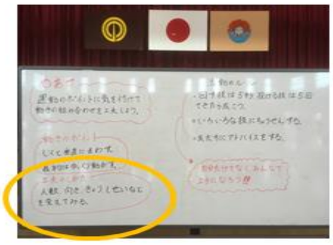
～運動の条件変化～
距離　…　運動を行う距離を変化させる
（例）　キャッチボールの距離を近くから遠くにしていく

姿勢　…　運動を行う姿勢を変化させる
（例）　両足立ちを片足立ちに変化させる

時間　…　運動を行う時間を変化させる
（例）　ゲームの時間を長く（短く）する

方向　…　運動を行う向き（方向）を変化させる
（例）　走る向きを変えながら走る
人数　…　運動を行う人数を増減させる
（例）　ゲームを行う人数を増減させる
用具　…　運動を行うための用具を変化させる
（例）　風船　➡　ボール
距離　…　運動を行う距離を近づいたり遠ざけたりする
（例）　距離を近くからだんだん遠くにしていく
姿勢　…　運動を行う姿勢を変化させる
（例）　両足立ちを片足立ちに変化させる
時間　…　運動を行う時間を長くしたり短くしたりする
（例）　ゲームの時間を長くしたり短くしたりする

上達を実感できるための手立て



～運動の条件変化～
授業の中で、それぞれの運動条件の変化については、必要に応じて例示するものを選択して児童に提示し、児童が自分たちで運動の内容を工夫できるようにした。

授業を進めていく中で、それぞれの運動条件の変化については、必要に応じて例示するものを選択して児童に提示し、児童が自分たちで運動の内容を工夫できるようにした。

上達を実感できるための手立て

学び合う場の設定

- **主体的・対話的で深い学びを行うために、授業の中で行う運動についてポイントを示し、全体指導を行って、児童の共通理解を図る。**
- **運動を行う中で運動をしながら話し合い活動を行い、運動の行い方を児童どうしで工夫できるようにする。**

主体的・対話的で深い学びを行うために、授業の中で行う運動についてポイントを示し、全体指導を行って、児童の共通理解を図った。

また、それらの運動を行う中で運動をしながら話合い活動を行い、運動の行い方を児童同士で工夫できるようにした。

1単位時間の学習指導過程の整理

ボールを使って、腹筋運動をしながらキャッチボールをするという運動の工夫を行った。

運動条件の変化を実際に用いて行った授業実践。
本時の課題で足上げ腹筋を行った際の実践内容である。こちらのグループは運動条件の変化の「用具」の変化を使って運動の負荷を上げ、足上げ腹筋をしながらボールを投げるという運動を行った。

1単位時間の学習指導過程の整理

運動を苦手とする児童への手立てとして、運動の負荷の下げ方を指導して腹筋運動に取り組ませた。

手立てを要する児童のいるグループに対しても運動条件の変化の「姿勢」の変化を用いて、運動の負荷を下げて、足を押さえた状態で上体起こしを行った。ここからも、たくさん腹筋運動をすればよいという「回数」ではなく、行い方の工夫などの運動の質を重視して学習を進めることができた。

ワークシートの活用について

- 授業の振り返りや、運動のポイントをもとに話し合い活動を行うために活用する。
- ワークシートに直接運動の仕方や、運動例のコツを書き込むことができるようにする。
- 感想を書く際には、自分が上達したと感じる内容だけでなく、友達との関わりや運動の工夫についても記載できるようにする。

ワークシートは、授業の振り返りや、運動のポイントをもとに話合い活動を行うために使用した。ワークシートに直接運動の仕方や、運動例のコツを書き込むことができるようにした。感想を書く際には、自分が上達したと感じる内容だけでなく、友達との関わりや運動の工夫についても記載できるようにした。

掲示資料の活用

児童が運動を行いながら、話合いや運動の工夫を行うことができるようにする
⇩
運動例ごとに児童の意見などから出た運動のポイントやコツを示す
⇩
運動例を示した掲示物に直接書き込み、児童の意見を反映させる

掲示物の活用について。
学習活動が効果的に行われるように、掲示物の工夫を行った。運動例ごとに児童から出た運動のポイントやコツを示した。
また、児童が自発的に話合いや運動の工夫を行うことができるように運動例を示した掲示物に直接書き込み、児童の意見を取り入れながら授業を進めることができるようにした。

掲示資料の活用

前時の活動で児童の話合いから出た意見を書き込み、ポイントを押さえながら学習ができるようにする

前時の活動で児童の話し合いから出た意見を書き込み、ポイントを押さえながら学習ができるようにした。また、端的な言葉で運動のポイントを示すことで、ポイントを意識しながら運動をしやすくした。

成果

○　「主体的・対話的で深い学び」を行うための定義づけを行い、学習指導過程を工夫したことで、研究主題にせまるような学習を構築することができた。

○　6つの「運動条件の変化」を基に、児童に運動させるようにしたことで、児童が主体的に運動に参加しながら、話合い活動を通して運動の行い方を工夫する姿を見ることができた。

研究の成果と課題。

「主体的・対話的で深い学び」を行うための定義づけを行い、学習指導過程を工夫したことで、体験したことから感じ取ったことを表現したり、課題解決について構想を立ててそれを評価したり、他者と考えを伝え合い自他ともに考えを発展させたりていく学習を構築することができた。

児童の興味・関心に応じて運動の条件を変化させるようにしたことで、児童が主体的に運動に参加しながら、話合い活動を通して運動の行い方を工夫する姿を見ることができた。

成果

○　掲示物やワークシートをもとに児童が活動を行うことで、運動の時間を十分に確保しながら、話合いの内容にも深まりがみられた。

○　「上達」の内容を自己評価する際に「回数」や「点数」で行わなかったことで、より客観的な評価や運動の質の高まりを感じられた。

掲示資料やワークシートを活用したことで、運動の時間を十分に確保しながら話合い活動を充実させることができた。また、運動のポイントを示したことで、より話合いの内容に深まりが見られた。

自己評価する際に「回数」や「点数」などではなく、友達からの称賛や運動のコツに気付いたことや、運動の行い方の工夫の仕方をワークシートの記述内容から行うようにすることで、より客観的な評価となり、児童が運動の質の高まりや動きの上達を感じられるような評価を行うことができた。

課題

○　「運動の時間が足りなかったり、児童の動きの高まりがみられなかったりしたことがあった。

児童の実態に合わせてより柔軟に授業内容を組み立てていく必要がある。

○　書き込む時間が多くなり運動時間の確保が難しくなることがあった。

書く内容や量を児童の実態に合わせる等して、ワークシートの活用を工夫するなどさらに改善を図る必要がある。

課題について。

「はじめ」「なか」「おわり」の各段階で内容を具体的に示して授業を行ったが、運動の時間が足りなかったり、児童の動きの高まりがみられなかったりしたことがあった。児童の実態に合わせてより柔軟に授業内容を組み立てていく必要がある。

掲示資料に書き込む時間が多くなり運動時間の確保が難しくなることがあった。書く内容や量を児童の実態に合わせる等して、ワークシートの活用を工夫するなどさらに改善を図る必要がある。